

4 主題研究

1 研究主題

自ら学び、確かな学力を身に付けた生徒の育成
～「わかる・できる」を実感させる授業づくりの工夫と実践を通して～

2 研究仮説

- (1) 教師が自分の担当の教科における生徒の実態を適切に把握し、授業に役立てることができれば、生徒の学力をさらに向上させることができるであろう。
- (2) 生徒の理解度を注視ながら授業をすすめることで、理解が深められ、生徒自身が自ら学ぶ意欲が出てくるであろう。

3 研究内容

- ・ 本研究で育成したい生徒像の共通理解を図る。
- ・ 1単位時間のめあて（学習課題）と振り返り（まとめ）を明確化し、授業を充実させる。
- ・ 学校支援訪問時のフィードバックを各教科の授業改善に役立てる。
- ・ 全国学力・みやざき学力調査（本年度は経年変化分析を中心）・RST（リーディングスキルテスト）の分析から生徒一人一人の学力実態を把握し、各教科の授業や補充学習に生かす。
- ・ 個に応じた指導を行う。

4 研修計画

月	主題研の内容
4月	主題研の方向性を確認
5月	生徒の実態分析・経年変化分析 (みやざき学力調査は12月に実施予定)
6月	NR T検査をもとに生徒の学力を分析
7月	学校支援訪問における授業（全員）：指導主事によるフィードバック
8月	「わかる・できる」を実感させる授業づくりについて研修
9月	生徒の実態分析やフィードバック等をもとに授業実践
10月	現時点までの取組の再検証
11月	研究授業の授業参観、事後研究会
12月	みやざき学力テスト 研究授業の授業参観、事後研究会
1月	研究のまとめ①
2月	研究のまとめ②
3月	次年度の主題研の方向性の確認